



行徳小だより

学校だより No.8
令和7年11月10日
市川市立行徳小学校
校長 白石 恵介

■ 6年修学旅行

10月17、18日と6年生が日光へ修学旅行に行ってきました。バスガイドさんも「こんなに天気のいい日が2日間も続くことはあまりありませんよ」と言うくらい2日間とも最高の天気でした。

また、今回の修学旅行は、何度も日光を訪れている私にとっても初めての経験が2つありました。1つは1年に一度の日光東照宮「千人武者行列」の日に当たったことです。もう1つは晴天の華厳の滝ではっきりと虹が見られたことです。

日光が初めての子どもにとっては、「ああ、こんなものか」と思うかもしれませんが、大人になって再度訪れた際に、「そういえば小学校の修学旅行でこうだったな」と懐かしく思い出してくれればいいなと思います。

参加した児童に体調不良者や大きなケガ人もない、私としては大満足の修学旅行でした。

もちろん子どもたちは2日間、とても楽しそうでしたが、私は「よく頑張っているな」思いました。と言うのも、やはり修学旅行は次から、次へとイベントが盛りだくさんです。しかも、いつもと違う場所で、約150人が同時に動かなければなりません。それを子どもたちは、自分たちで考えて、時間通りにしっかり動こうと頑張っていたのです。その姿に感心もしましたし、成長を感じました。でも、もしかしたら子どもたちにとって一番楽しかったのは、特に何をするこでもない、ホテルの部屋での時間だったかもしれません。

この修学旅行に限ったことではありませんが、私たち大人は子どもたちのことを思って、あれもこれもと大盛にしすぎることがよくあります。でも、やはり子どもにも、大人にも「ゆとり」は大切なことだと改めて思いました。



いずれにしても、よい修学旅行でした。事前の準備等、ご家庭のご協力、ありがとうございました。

10月はその他にも各学年の校外学習やお芋ほり、街巡り、陸上部の活動と陸上大会など色々な行事がありました。中でも3年生の「おみこし集会」、「行徳っ子祭り」では、地域みなさんや実行委員の方に大変お世話になりました。おかげさまで、子どもたちもとても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

これからも、様々な行事を通して、子どもたちを成長させたいと思います。



■「失敗」の経験

先日私が受講した研修の講師が、研修の最後に「今の時代に、子どもたちに一番つけさせたい力は何だと考えますか」と受講者に質問されました。私はとっさに「自分は自分と思える力。自己肯定感」と考えました。

講師の考えは「自分の失敗を自分で乗り越えられる力」その力を付けるためには、子どもの時に小さな失敗をたくさん経験させる必要がある。子どもたちが失敗を自分で乗り越える経験のないまま、社会に出ていくことはとても心配だ。というものでした。

誰でも失敗は嫌なものです。一見すると今の時代は、AIやネットなど失敗を回避するための方法が無限にあります。大人も子どもに失敗させたくなくて手を出してしまいがちです。それで本当に大丈夫でしょうか。

講師はこうもおっしゃいました。今の場所でどうしてもうまくいかなかったら、別の場所に行けばいい。世界には必ずその人の居場所はある。だから、自分から動き出そう。

前述した「ゆとり」もその一つですが、我々大人は、子どもたちが安心して失敗することのできる環境を、しっかりと整えてあげる必要があると考えさせられました。

11月行事予定

下校時刻についてはマチコミメールによるお知らせをご覧ください。

月	火	水	木	金	土	日
3 文化の日	4 2年校外学習	5 定例研 4時間授業	6 市川市児童生徒音楽 会（6年参加）	7	8	9
10 委員会活動(5,6年)	11	12 校内研究会 全学年5時間授業	13 市川市こども作品展・ 新聞展（～16日） 【市川市文化会館】	14	15	
17	18 音楽集会リハーサル ♪保護者参観可♪	19 音楽集会	20	21	22	23 勤労感謝 の日
24 振替休日	25	26 4時間授業 【ハッピーアフタヌーン】	27	28	29 七中ブロック 地区別音楽会 管弦楽部出演 【第七中学校】	30

こども作品展・新聞展
【行徳小指定入場日時】
15(土)
12:00～14:30
※指定日時以外でも
入場は可能です。